

年末の大掃除前に再確認

ごみを分別しよう

年末に大掃除をすると、たくさんの不用品が出てくると思います。それは本当にごみになるのでしょうか。捨てる前に、確認してみましょう。今回は市内在住の小林さん家族と一緒に、ごみの分別について学びましょう。

【問】環境課（本庁2階） ☎ 24-2130

それでは、このあと環境センターに行って、筑西市のごみの現状について学んでみよう。

行ってみよう

お片付け
スタート

市内在住の小林さん家族。年末に向けて大掃除開始！

もう使わないから
捨てちゃおう！

今日からできる ごみ減量化

可燃ごみの約4割は生ごみ
うち重さの約8割は水分

水分を多く含む生ごみを減量すると燃焼効率が高まり、処理費用・二酸化炭素の排出量削減につながります。

① 生ごみを捨てる時は、水分をできるだけ切ってごみを減量しましょう。

② 必要な食材だけを購入し、買いすぎに注意しましょう。買ったものは使い切りましょう。

③ 食べ物を大切に、残さず食べましょう。残った食材はアレンジして食べきりましょう。

生ごみ処理機器購入費補助

市では、購入費の一部補助を実施しています。対象者や補助金額など、詳しくはWebをご覧ください。

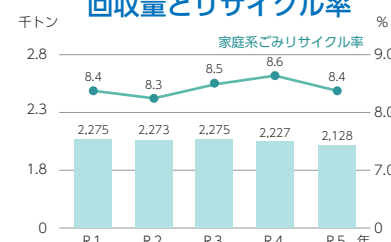


グラフで表すと下のとおりだよ

リサイクル率は横ばい

リサイクルを推進することは、限られた資源の有効活用につながるだけでなく、ごみ処理場の負担軽減にもつながります。

資源物（缶・瓶など）の 回収量とリサイクル率



家庭系ごみ排出量は減少傾向

筑西市の家庭系ごみ排出量及び1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は、令和3年度から前年比で減少傾向にあります。排出されたごみの約85%は可燃ごみです。

地域のリサイクル収集に出せない人も「いつでもリサイクルステーション」などを利用し、リサイクルに努めましょう。

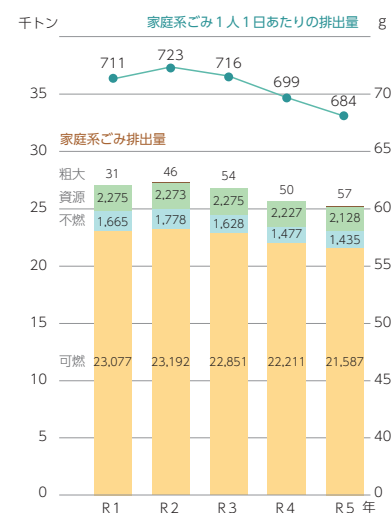
いつでもリサイクルステーション

日曜日に出不せない人やリサイクル回収を行っていない地域の人へ、ご利用ください。



詳しくはこちら

家庭系ごみ排出量の推移 1人1日あたりの排出量



ちょっと
待った！

それじゃ捨てに行こう

それって本当にごみかな？
筑西市の家庭系ごみは減少傾向だけど、まだまだ多いんだ。みなさんが出すごみの約25%は資源になると言われているよ。それでは、筑西市のごみ事情を見てみよう。

筑西広域市町村圏事務組合
環境センター
青柳 さん

部屋が片付くと
気持ちいいね

意外とごみが
たくさんでたな

資源25%
ごみ75%

混ぜればごみ 分別すれば資源



ごみ集積所に出された不燃ごみの中には、缶やビンなどの資源物が約50%含まれています。きちんと分別すれば、資源として再利用できますが、混ぜてしまうとただのごみとして扱われてしまいます。資源を活かし環境負荷を減らすため、正しい分別に協力をお願いします。

◀不燃ごみとして捨てられた資源

ごみの捨てる方は、ごみカレンダーやアプリで確認してね。





取材を終えて・・・

これからは家族みんなで意識を変え、
しっかり分別に取り組むことにしました。
まずは正しい分別の知識を身につけ、日々
の暮らしで実践していきたいと思いま
す。ごみ一つひとつを大切にすることで、
地球にも優しい生活を目指したいです。
面倒ではなく、家族で楽しみながら取り
組んでいきたいです。

小林さん家族

年末の大掃除を前に ごみの分別 再確認

今日からできるごみの削減・分別

ごみを出さない・ごみにさせない

ものを長く使い、不要なものを買わないことでごみそのものを減らすことが
できます。あなたにとっての不用品は、誰かの必需品かもしれません。
リサイクルショップやフリーマーケットなどを活用し、再利用しましょう。

【目標】市民1人あたり、1日478gのごみを削減

市民1人が1日約500gごみを削減することで、年間1万7,000トンのごみを削減
することができます。生ごみを水切りしたり、マイバッグを使ったりなど、
できることから挑戦してみましょう。

還元金を増やし経費削減

市内には、積極的にリサイクルに取り組み、年間150万円を越える還元
金を受け取った地区もあります。

私たちが積極的にごみの分別
に取り組んだ分、リサイ
クル量が増えたとともにご
み処理の費用が削減され、
最終的に自治会への還元金
が増えるんだね

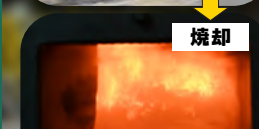
環境センターへ
ようこそ

環境セ
ンターでは、集
められた可燃物
を焼却した時に
出る排ガスの熱を利用
し蒸気を発生させ、発電
を行っています。また、ボ
イラーで作られた蒸気を筑西
遊湯館のお風呂や温水プールの
お湯を沸かすことに活用するなど、
さまざまなエコに取り組んでいます。

筑西広域市町村圏事務組合環境センター



市で集められた
ごみは、環境セ
ンターで24時間
燃やし、灰を溶
融処理してアス
ファルトなどの材
料に変えるんだ



可燃ごみ 1日平均**200トン**搬入(筑西市1日100トン)
年間平均**55,000トン**搬入

青柳さん、
こんなにごみ
が出てるの!?



200トンって
トラック100台分!?

ごみの減量化と資源化へ

丁寧な分別は、単にごみを減らすだけでなく、
貴重な資源を有効活用し、未来へつなぐ大切な
第一歩です。分別への意識と実践が、
地球の資源を守り、環境負荷を
低減する大きな力となってい
ます。私たちの街が持続可
能なまちづくりのために、
市民一人ひとりの行動が
不可欠です。
共に、より良い環境
と未来を築きま
しょう。

IKASUポイント フードドライブ

フードドライブと
は、家庭などで
余っている食品を
集めて、食品を必
要としている世
帯、福祉団体など
に寄付する活動の
ことです。



本庁1階西側
総合案内所に設置



環境センターからのお願い

分別の徹底に協力を！～ごみ減量・経費削減の第一歩～

ごみの分別徹底は、環境保護だけでなく、大切な税金で賄われている
処理費用の削減に直結します。誤った分別は、処理コストを増やし、
最終的にみなさんの負担となってしまいます。

可燃ごみの処理にかかる費用 約**500万円/日**

リチウムイオン電池はごみ箱に捨てないで！～火災事故の原因に～

リチウムイオン電池は、衝撃や圧縮で発火し、火災原因となります。処分の際は、
筑西市役所環境課に相談してください。

プラスチック製容器包装はきれいに洗って資源化へ！～リサイクルの品質向上～

汚れたままのプラスチックはリサイクルできません。汚れを落としてから指定の
袋で出してください。きれいな資源は、新たな製品に生まれ変わります。



環境センターに
ついて

IKASUポイント ごみの減量方法



3Rの認知度は80%を越えます
が、日常的に行動している人は
約20%にとどまっています。